

精神、自然兩科學 研究に奨励金を

服部報公會の分もさるる

本報の各専科記者が、服部報公會の奨励金を、精神、自然兩科學の研究に充てる。この奨励金は、毎年八月一日に発表される。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。この奨励金は、服部報公會の分もさるる。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。

哲學講座の五十人 を筆頭に三百五十人を集めた

土用さ中の講習會

本報の各専科記者が、服部報公會の奨励金を、精神、自然兩科學の研究に充てる。この奨励金は、毎年八月一日に発表される。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。この奨励金は、服部報公會の分もさるる。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。

各所に展開した 双龍珠を争ふ壯觀

學友會主催高専大會終る

本報の各専科記者が、服部報公會の奨励金を、精神、自然兩科學の研究に充てる。この奨励金は、毎年八月一日に発表される。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。この奨励金は、服部報公會の分もさるる。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。

覇業 再び中部に 關學高商優勝す

全國大會

本報の各専科記者が、服部報公會の奨励金を、精神、自然兩科學の研究に充てる。この奨励金は、毎年八月一日に発表される。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。この奨励金は、服部報公會の分もさるる。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。

球卓

本報の各専科記者が、服部報公會の奨励金を、精神、自然兩科學の研究に充てる。この奨励金は、毎年八月一日に発表される。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。この奨励金は、服部報公會の分もさるる。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。

軍事教育更迭

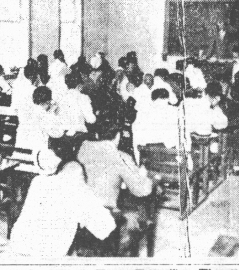
本報の各専科記者が、服部報公會の奨励金を、精神、自然兩科學の研究に充てる。この奨励金は、毎年八月一日に発表される。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。この奨励金は、服部報公會の分もさるる。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。

高校は四高に

本報の各専科記者が、服部報公會の奨励金を、精神、自然兩科學の研究に充てる。この奨励金は、毎年八月一日に発表される。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。この奨励金は、服部報公會の分もさるる。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。

學習院 優勝

本報の各専科記者が、服部報公會の奨励金を、精神、自然兩科學の研究に充てる。この奨励金は、毎年八月一日に発表される。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。この奨励金は、服部報公會の分もさるる。その研究の進歩が著しいものには、特別の奨励金を贈る。



本學術協會

今年第十回總會を
十月二十二日から
金澤で開く

接戦して三高勝つ

關學高商と大同の一騎打

競泳は三高優勝

水球は滋進高校に凱歌

成蹊勝つ

球權は一高と長高商へ

京大エース

球權は一高と長高商へ

甲南優勝

一	松山	32
二	水戸	32
三	高松	30
四	山形	30
五	高松	30
六	山形	30
七	高松	30
八	山形	30
九	高松	30
十	山形	30

姫高と

一	松山	32
二	水戸	32
三	高松	30
四	山形	30
五	高松	30
六	山形	30
七	高松	30
八	山形	30
九	高松	30
十	山形	30

道弓

一	松山	32
二	水戸	32
三	高松	30
四	山形	30
五	高松	30
六	山形	30
七	高松	30
八	山形	30
九	高松	30
十	山形	30

球權は一高と長高商へ

一	松山	32
二	水戸	32
三	高松	30
四	山形	30
五	高松	30
六	山形	30
七	高松	30
八	山形	30
九	高松	30
十	山形	30

全國大會

一	松山	32
二	水戸	32
三	高松	30
四	山形	30
五	高松	30
六	山形	30
七	高松	30
八	山形	30
九	高松	30
十	山形	30

暑中御見舞

呼吸器科	松永清夫	電話西陣一五九一
皮膚科	田代勉三	松浦病院電話上五七七
内科	新田一衛	電話西陣一五九一
耳鼻咽喉科	安野吉郎	電話本局六六一二
内科	桂貞陽	電話本局六一一五
小児科	松田道作	電話本局三〇三五
内科	大村節次郎	電話本局一五九九
内科	森井初郎	電話本局一五九九
産婦人科	小林隆治	電話本局一五九九
内科	古屋禎造	電話本局一五九九

暑中お見舞

小山齒科醫院	小山正光	電話本局一五九九
福井醫科器械店	電話本局一五九九	
武藏野	電話本局一五九九	
長谷川食堂	電話本局一五九九	
井筒屋洋服店	電話本局一五九九	
武田自轉車店	電話本局一五九九	
京都帝國大學新聞一同	電話本局一五九九	

